



「よろしくね!」と始まった4月から1年が経とうとしています。ドキドキしていたお友だちも、お相手さんがいることで、安心してお部屋で過ごせるようになり、2期からはすみれさんが少しずつ移行し、にぎやかになったさかなグループ。色々なことにチャレンジし、がんばる姿を近くで見守らせてもらい、時には、悲しかったり悔しい想いを言葉にしたり、泣いて伝えてくれることもありました。また、うれしくて楽しい気持ちを共に感じ、たくさんの笑顔を見せてくれました。このメンバーで過ごす時間はあと少しですが、次はばらさんがゆりさんになって、さかなグループの保育は来年度へとつながっていきます。1年間、グループの保育を支えていただきありがとうございました。

なにができるかな？

お家から持って来てもらって集まった廃材を使ってあそび始めています。集まったものをどんな風に使っていくのかグループで話をし、まずはゆりさんから作り始めました。作りたいものをイメージして使えるものを探すお友だち、使いたいものから作れるものをイメージするお友だち、始まり方はそれぞれです。“とにかく切ってみる”ではなく、選んだ廃材をどのように使うか想像してから作り出すようにお約束しました。ゆりさんだけで一回目の活動をした後、お部屋に戻って来たばらさん、さくらさん・すみれさんが「なにつくったの?」「これはなあに?」と、ゆりさんの作品をワクワクした目で見てくれました。ゆりさんの作品を見ることであそび方がわかり「〇〇もする!」と、興味を持ったお友だちからお部屋あそびの時間に始めています。同じ廃材あそびでも年齢によってあそび方に違いがあり、重ねる・つなげる・折る・結ぶ・切る・貼るなど様々な作り方があるので、難しいところはゆりさんが手伝ってくれています。子どもたちのアイデアで、どんな作品が出来上がっていくのか楽しみです。廃材のご協力ありがとうございます。



おわかれ会



(ゆり)

もうすぐ1年生。卒園・就学に向けてゆりさんだけで過ごすお昼の時間に様々な準備を始めています。卒園式の歌の練習や記念品づくり、お別れ会の歌の練習やお相手さんへのプレゼント作り…。「みんなには内緒ね。」と言って取り組んでいるので、子どもたちの口から「ないしょ!」という言葉をよく聞かれるかもしれません。お相手さんへのプレゼントは、事前に好きな色を聞いておいて「〇〇ちゃん、よろこんでくれるかなあ。」と心を込めて作っています。残り1ヶ月、お友だちやお相手さん、先生たちと過ごす時間を目一杯楽しみ、ゆりぐみのバトンをばらさんに繋ぎます。

(すみれ・さくら・ばら)

3月10日にゆりさんのおわかれ会があります。ゆりさんとの思い出を聞くと、「一緒にあそんで楽しかった」「お当番、テーブル拭きを教えてもらったのが嬉しかった」「トントンしてくれた」「あそびを教えてくれた」「ぎゅーってしてくれた」と楽しかったこと、嬉しかったことがたくさん出てきました。お手伝いをしたり、あそんだりしてくれたゆりさんにプレゼント作りと歌のプレゼントを秘密で練習しています。「ないしょやな」「おどろくかな?」とゆりさんのことを考えて練習をしています。すみれさんも秘密でプレゼントを作っています。子どもたちとおわかれ会を楽しい思い出の時間になるようにしていきたいと思います。